



## 洗濯、入浴、野菜畑の水やり… 活用される簡易水道網

(国際ボランティア貯金寄付金配分事業)

ビラーン民族の聖地マトウトウム山の山麓の村ゴメロ(76 世帯)に公共水場が 15 ヶ所設置されました。約5世帯に 1 ヶ所の割合です。洗濯も入浴もおしゃべりしながらちょっと待つだけで、すぐに順番が回ってくる。このささやかな出来事がどんなに生活を豊かにしたことでしょう。



洗濯しながらのおしゃべりは女性たちの楽しみ

○マリロー・サラトンさん (27 才、子ども 3 人)

以前と比べてとても素晴らしいです。家のそばで洗濯ができ、水を汲むことができます。本当にありがとうございます。遠くまで行かずに済むようになり楽になりました。また以前の水はお腹が痛くなったりしました。

○ヨランダ・ゾニオさん (18 才、子ども 1 人)

家の近くで洗濯ができ、幸せです。農場のジャガイモに水をやれます。また(大勢に見られないので)水浴びが恥ずかしくありません。

以前の水場は 1 ヶ所のみで水量も少なく、いつ行

っても順番待ちの長い列がありました。また常に人に取り囲まれているなかで体を洗うことは、女性にとってとても恥ずかしく、



公共水場をつなぐパイプとコネクター  
この管理も水道組合の仕事

体を清潔に保つことが課題だったのです。

住民で結成した水道組合のエドリラ組合長とマンドン副組合長にお伺いしたところ、現在は試運転中であり、どのようにパイプをつなげて、どこに圧力をかければ水量が安定するか確認しているところだそうです。一部の地域は早朝と夜は水量があっても、みな洗濯で水を使う午前中に水の出が悪くなるので、この問題を解決してからパイプを地中に埋める予定です。

また、

○アメリカ・フローレスさん (36 才、寡婦、子ども 1 人) 洗濯が楽になりました。水は農場にもやります。農場ではキャベツ、カボチャ、トマト、トウモロコシ、赤ピーマン、ジャガイモなどを作っています。野菜はゼネラルサントス市の市場に運び、販売します。

というように、野菜を育てるのが得意なゴメロ村の人々は、畑への水やりが頻繁にできるようになったことで、収穫量の増大も期待できます。

## 自立へ向けてテイク・オフ!

COWHED と他助成機関との事業について

COWHED 事務所を 9 月 7 日に訪問しました。この日はアメリカからの助成で建設した、汚水浄化槽の引き渡し式でした。



浄化槽建設のための土地を提供したご夫婦

いままで各家庭から出された汚水は、ティボリ民族の生活と文化の源であるセブ湖へ直接排水されており、湖の汚染、富栄養化が懸念されていました。また観光資源でもあるセブ湖が汚染されては観光客も減ってしまいます。

COWHED が獲得した助成金は、広いセブ湖畔 4 ヶ所に汚水浄化槽を建設する、同時に助成団体は自治体と住民組織との連携を促進し、ともに問題解決にあたるよう働きかけるというものでした。自治体の資金によるさらに多くの浄化槽建設が期待されます。

ILO などの国際機関や海外の助成金を獲得する力をつけてきた COWHED。これも自立の一つの形といえます。